

萱瀬小学校学校だより

令和７年１２月１７日 第３９号 文責 学校長

○ことばの力と子どもの育ち

子どもたちの間からときどき耳にする、不快な気持になる、使ってはいけない言葉があります。それは以下のとおりです。

×　「死ね」「ばか」「あほ」「うざ」「きえろ」「きも」「あっちいけ」「…」…

「絶対に使ってはいけないことば」、として指導していきます。※「…」は 無視 です。

さて萱瀬小学校では、１２月４日に人権集会がありました。この日だけでなく、今後も人権週間ともかかわらせて継続的な人権に関する指導を進めていきます。一人ひとりに子どもなりの「人権意識」「人権感覚」を芽吹かせていくことが、小学校の努めであると考えています。そのためにも教育活動全体を通じて、子どもとのかかわりを大切にしながら、「相手意識」をまずしっかり植え付けていきます。

この期間、ご家庭におかれても家族でいることの「あたりまえ」から、お互いに必要な大切な存在であるということを、言葉で「伝えて」みられませんか？

例えば、「いつもありがとう」「○○をがんばってたね」「たすかったよ」「○○すごいね」「○○がいてくれてよかったよ」「○○に力を貰ったよ」等々。

「やさしい言葉は、たとえ簡単な言葉でも、ずっとずっと心にこだまする」

BY　マザーテレサ

＜学校評価について＞

本校では１２月のこの頃に学校評価についてご協力をいただくようにしています。おおよそ例年通りですが、学習指導や生活に関する指導、情報発信、そして子ども理解等、数項目についてお尋ねをします。どうぞ今年度４月からの学校の様子を振り返っていただき、建設的なご意見をいただきたいと思います。ご協力をお願いいたします。



↑こんなものもありますよ

あいさつ　ありがとう

前回の学校だよりでもお知らせしましたが、人権集会で話をした「あいさつ」「ありがとう」について、各学年でも実態に応じて指導をしてもらいました。その効果か、先日朝バス停で荒瀬方面から来る子どもたちと出会うと、ある３年生の子がすぐに大きな声で、「おはようございます！」とあいさつをしてくれました。大事に考えてくれたのだなあと、とても嬉しくなりました。この地区で育ち、友達や先生の数も限られ、いわばどこか慣れっこになってしまいがちなところもあると思いますが、これから萱瀬の外にはばたく子どもたちに、**確かなあいさつの力をつけたい**と考えます。どうぞこの子のようにあいさつの励行について、ご家庭でもご支援ご指導をお願いいたします。